

2023/4/24 (月)

朝の礼拝

聖書 マタイによる福音書 6章 34節 (新約聖書11頁)

だから、明日のことまで思い悩むな。明日のことは明日自らが思い悩む。その日の苦労は、その日だけで十分である。

赤ちゃん

イエスはわたしたちに悩みが尽きないことをよくご存じでした。自分で考えても、友だちと一緒に考えてもらっても、先生からアドバイスをもらっても、お母さんお父さんに話しをしても、残念ながら心が晴れないことがあります。

涙が止まらない、眠れない日もあります。でも、のどは渴きますし、お腹は空きますし、疲れればいつの間にか寝てしまいます。まるで赤ちゃんのようにじっと助けを待つしかないほど、じっとしているだけで精一杯の時があります。

そんな時、ふと目が覚めた瞬間、頭の中が空っぽの状態、一瞬だけ何のことだったか、ほんの一瞬だけですけど悩んでいたことを忘れていた時があります。頭が覚醒してなく、ニュートラルな、無意識の状態ですね。

イエスが「その日の苦労は、その日だけで十分である」と言われたのは、そのことなのかなと思うのです。「赤ちゃんのようにすべてを考えずに、委ねなさい、休みなさい。寝ていいんだよ」と言われているように思うのです。とても大切なことです。

(しばらく黙想しましょう)

すべての知恵の源である主よ、あなたはわたしたちが求める前から必要なものを知り、どう祈ればいいのかわからないわたしたちを助けてくださいます。特に先週はメイプルコンサートがありました。共に歌い、奏で、感謝の喜びを献げました。どうか卒業していく高校3年生たちを祝福し、英和生が自ら考え行う活動を祝福してください。そして今日から衣替え調整期間に入りました。季節の変わり目を肌で感じ、一人ひとりが自らの体調と気候に合わせて服装を選び、学校生活を送ることができますようにお導きください。今日一日もすべてをあなたに委ね、喜びと感謝のうちに過ごさせてください。主イエス・キリストによってお願いいたします。アーメン